

予 算 要 求 資 料

令和 3 年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 岐阜県伝統文化継承者表彰

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 文化伝承課 伝統文化係 電話番号：058-272-1111 (内 3579)

E-mail： c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 392 千円 (前年度予算額：372 円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	372	0	0	0	0	0	0	0	372
要求額	392	0	0	0	0	0	0	0	392
決定額	392	0	0	0	0	0	0	0	392

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

伝統文化の保存・継承に尽力された功労者を顕彰するとともに、芸術文化の各分野において優れた業績を上げ、又は将来その成果が期待できる個人・団体を顕彰又は奨励し、芸術文化の振興を図る。

(2) 事業内容

文化創造課で実施していた岐阜県伝統文化継承者顕彰と文化伝承課で実施していた岐阜県伝統文化継承功績者顕彰を令和元年度に統合した。

○候補者の選考

・永年にわたり、地道に伝統文化の保存・継承に尽力されている方を表彰し、伝統文化の保存・振興、後継者の育成に資する。

○表彰式

・伝統文化継承者表彰を県民により周知できるよう、文化行事と組み合わせた表彰式とする。

(3) 県負担・補助率の考え方

県単費

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	55	選考委員会謝金
旅費	25	選考委員会費用弁償
需用費	207	消耗費、会議費、印刷製本費
役務費	10	返信用切手
委託料	75	看板作成委託業務、表彰式開催委託料、記念写真
使用料	20	会議室使用料
合計	392	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○岐阜県文化振興指針(平成19年6月策定)における位置づけ

伝統文化の保存・継承に尽力された個人や団体を顕彰し、その功績への評価を通して活動の活性化と伝統文化の継承を図ります。

(2) 国・他県の状況

文化芸術振興基本法(平成13年法律第148号)において、伝統芸能の継承及び発展、地域における文化芸術の振興、文化芸術活動で顕著な成果をおさめた者等に対する顕彰の必要性を規定している。

事業評価調書

新規要求事業
 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
継続的に伝統文化等の功績者を表彰することにより本県文化の継承、活動及び伝統文化の振興を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
伝統文化継承者表彰 表彰者数			37 (R1)	35 (R2)	30 (R3)	117.0%

○指標を設定することができない場合の理由

--

(前年度の取組)

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
35名表彰予定
選考委員会 令和2年9月開催
表彰式 令和2年11月～12月開催予定

(前年度の成果)

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
伝統文化継承者表彰は永年功労者27名、功績者8名（団体）を表彰する予定。本表彰により、本県文化を守り伝え、後継者の育成につなげていくことができる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 		
(評価)	○	<p>伝統文化の継承及び発展、地域における文化芸術の振興につながる。また岐阜県ゆかりの先人の業績を、表彰を通じて広く紹介することで先人の業績へ理解を促進し、県民の誇りとしての意識の醸成を図ることができるため、事業の必要性が高い。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 		
(評価)	○	<p>伝統文化継承者表彰は令和2年度に35名を表彰予定である。また、要項で規定した多くの分野から表彰しており、伝統文化及び先人の業績を広く紹介できたことからみても事業効果が現れている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 		
(評価)	○	<p>選考委員会において改善点を協議し、表彰事業の適切な推進に向けて事業内容の精査を進めている。</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>推薦者（市町村、文化団体等）において幅広い表彰候補者の把握が必要である。また、表彰規定が、団体の中核として活動している人を表彰することを不可能にしており、規定の再検討が必要である。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>本県の伝統文化の継承、伝統文化の活動の支援の一環として引き続き事業を継続していく。令和3年度より、4団体照会広域文化団体を増やし、間口を広げる。また、取扱要項を修正し、時代に即した表彰とする。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【○○課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	